

郷土しりょうかん

わたりちょうりつきょうとしりょうかん
巨理町立郷土資料館

〒 989-2351 巨理郡巨理町字西郷140
Tel 0223-34-8701 Fax 0223-34-8709
E-mail kyoudo@town.watari.miyagi.jp

国史跡三十三間堂官衙遺跡指定30周年記念

三十三間堂官衙遺跡を知ろう！(1)

巨理町逢隈下郡にある三十三間堂官衙遺跡は平成4年(1992)1月21日に国史跡の指定を受け、今年史跡指定30周年を迎えました。そこで、今年度は史跡のことについて理解を深める特集を連載します。1回目は、この遺跡のシンボルともいえる「たくさんの礎石」についてです。

* 伝説にみる三十三間堂

「わたりの民話—陸前の伝説—」にこのような話があります。

「昔、この地に、一夜で三十三間堂を建てようとした若者がいました。一生懸命になって建てて、やがて、出来上がる頃になった時、これをこぼれた天邪鬼が、未だ夜が明けないのに、鶏の鳴き声を真似て「こけこっこう」とやったものですから、若者は、夜が明けたと思ったのか、工事を止めてしまったということです。それで、三十三間堂は建たないでしまったということです。

(この若者が飛騨匠 左甚五郎だと書かれた話もあります。) このように、建物を建てられなかったために土台の石だけが残ってしまった、と伝えられました。

※「わたりの民話」(1983巨理町教育委員会発行)は郷土資料館で販売しています(価格1,000円)。



▲三十三間堂官衙遺跡(上空南から)



▲正倉院礎石建物跡(南から)

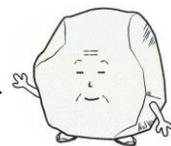
* 古文書にみる三十三間堂

江戸時代の記録「風土記御用書出」(安永8・1779)にも、その由来や年代は分からないものの「三十三間堂跡野山之内 右礎石之跡残居申候…」と記載があり、古くからお堂の礎石だったと考えられてきました。

さて、「三十三間堂」という呼び名が古くから使われているのはなぜでしょう。おそらく、たくさんの礎石が整然と並んでいたことから「三十三間」(柱と柱の間を1間という)ほどもある大きな建物が建っていたと考えられていたのではないのでしょうか。

ではこの礎石建物は何のための建物だったのか？それは次回のお話とします。

きょうと
京都で有名な寺院「三十三間堂」とは時代や性格もちがうので、関係はないと考えられているんじゃないよ！



次号の「郷土しりょうかん」は、7月に発行する予定です。

郷土資料館、図書館、各公共施設の窓口に置きますのでご覧ください。



巨理伊達家雛人形公開とつるし雛展を開催しました！



▲巨理伊達家雛人形とつるし雛



▲2階エントランスホールのつるし雛

2月19日(土)から3月17日(木)まで、常設展示室に石川家伝来の巨理伊達家の雛人形を婚礼道具の調度品とともに展示しました。この雛人形は、巨理伊達家十五代伊達邦成の三女佑子さんが、嫁入り道具として嫁ぎ先の石川家に持参された古今雛です。石川家は巨理伊達家と同じく仙台藩の一門であった角田石川家の流れをくむ家柄です。

つるし雛展は3回目で毎回好評をいただいています。今年は「織繰会那智が丘すみれ」、「布あそびサークルはまなす」様の協力のほか、東日本大震災後に千葉県から訪れたボランティアに作り方を教えられた方々の輪飾りも展示しました。

期間中の17日間で4,000人を超える大勢の方々にご覧いただきました。同じ人形でも一つ一つの表情が違ってすごく楽しめる、観覧者のみなさんは写真を撮りながら、穏やかにゆっくりと見学されているのが印象的でした。



春のテーマ展「アーティストから見た巨理」を開催しました！

2月19日(土)から3月13日(日)まで、企画展示室で「アーティストから見た巨理～アートで始まるまちづくり～」を開催しました。

本展示では、巨理町初の地域おこし協力隊で、ワタリトリプルシープロジェクトのメンバーである、7人のアーティストが「巨理町移住前に制作した作品」「巨理町で制作した作品」「これから制作したい作品企画」などの一斉展示を行いました。

展示作品は、2025年大阪・関西万博のクリエイターの一員でもある市原えつこさんの「都市のナマハゲ」や建築学を用いて触れたり遊ぶことで完結する作品を制作しているキムテボンさんの「ドリームキャッチャー」などで、現代アーティストとして活動している相澤安嗣志さんの「サイアノタイプ」という写真技法を使った作品では、荒浜島の海にある蛭塚周辺の様子が映し出されていました。期間中の15日間で昨年比2倍の840人の方々にご覧いただきアートを通じた町の魅力を感じてもらいました。

他のアーティストの作品は↓↓↓

久保田沙耶さん…「わたりに舟」
富士田玲奈さん…「感情マップ」

力石咲さん…毛糸ワークショップ報告、巨理での作品構想
岩村寛人さん…巨理での作品構想



▲都市のナマハゲ



▲観覧者とキムさん 右：ドリームキャッチャー



わたり復興の歩み上映会を開催しました！

巨理町では東日本大震災からの復興が進み、令和2年度をもって町の震災復興計画に基づく事業を終了することができ、復興の様子を映像にまとめた「わたり復興の歩み」が制作されました。

2月12日から3月13日までの土曜・日曜の午前午後1回ずつと、3月11日の午後に悠里館1階エントランスホールで上映会を開催しました。

郷土資料館は「震災伝承施設」として、震災の記憶を風化させず後世に伝え続けていくため、今後も毎月11日(休館日を除く)に上映会を行いますので、震災写真とあわせてぜひご覧ください。



▲わたり復興の歩み上映会の様子

第25回収蔵資料展は延期となります



例年4月から6月に企画展示室で開催している「収蔵資料展」は、令和4年3月16日に発生した地震の影響により、開催を延期いたします。時期については令和5年2月頃を予定していますが、詳細が決まりましたら町ホームページ等でお知らせします。展示品については、平成31・令和元年度に当館に寄贈された資料です。



郷土資料館 今年度の事業予定

	事業名	期日・期間	概要
展示	夏のテーマ展	8/6～8/31	ワタリトリプルシープロジェクト関係の展示
	秋のテーマ展	10/8～11/27	三十三間堂官衙遺跡の国史跡指定30周年を記念した展示
	巨理伊達家雛人形公開とつるし雛展	R5.2月～3月	石川家伝来の巨理伊達家雛人形の公開とつるし雛の展示
	第25回収蔵資料展	R5.2月	平成31・令和元年度寄贈資料の展示
行事・講座等	ゴールデンウィーク特別開館記念	4/29～5/5	蓄音機などで昔のレコードを鑑賞クイズにチャレンジ
	伊達成実霊屋御開帳スタンプラリー	R4.8/16	伊達成実霊屋と郷土資料館をスタンプラリーしながら見学
	夏休みワークショップ	8/20	ワークショップをとおして参加者同士が交流しながら学ぶ場を提供
	ものしり大学院	11月	巨理の歴史と文化を探り、町民文化の向上を目的とする座学講座
	文化の日「オープンミュージアム」	11/3	民俗芸能演舞会や切り絵など、さまざまな文化に触れる体験

名称や会期、内容は変更になる場合があるのじゃ！



郷土資料館カレンダー・利用状況

4月

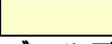
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22 資料 整理日	23
24	25	26	27	28	29 昭和 の日	30

5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 憲法 記念日	4 みどりの 日	5 こどもの 日	6	7
8	9	10	11 上映会	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27 資料 整理日	28
29	30	31				

6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11 上映会
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24 資料 整理日	25
26	27	28	29	30		

- ◆  は休館日
- ◆ ゴールデンウィーク期間中は祝日も特別に開館します。

巨理伊達家雛人形公開とつるし雛展

R4.2.19～3.17

- 開館日数…17日間
- 観覧者数…4,090人以上
(郷土資料館・図書館利用者数で集計)

春のテーマ展「アーティストから見た巨理」

R4.2.19～3.13

- 開館日数…15日間
- 観覧者数…840人(1日平均56人)

令和3年度 郷土資料館観覧者数

◎開館日数…270日間
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

◎観覧者数…7,159人

平成6年10月15日に開館してからの
総観覧者数は215,931人です。

これからも皆様のご来館を
お待ちしております！



おわりに

4月から令和4年度になりました。これは^{れきねん}暦年とは別に官公庁などで、予算を編成して管理・執行する時に用いられる期間である、4月1日から3月31日までの「会計年度」と呼ばれるものです。令和5年3月31日までが令和4年度になります。今年と今年度の違い、よろしければ頭の片隅^{すみ}にでも置いてみてください。

新年度といえば、巨理町のホームページがリニューアルされていたのはご存じでしたでしょうか。スマートフォンを意識したレイアウトに変更され、いつでも気軽にアクセスしていただけるホームページに生まれ変わりましたので、ぜひ検索してみてください。郷土資料館ホームページも一新され、展示案内や文化財^{ぶんかざい}についてのお知らせ等を随時発信していきますので、よろしくお願いします。

郷土資料館利用案内

*開館時間…9:00～16:30(入館は16:00まで) *観覧料…**無料** ※特別展等有料の場合あり